

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月 1日

事業所名 スタジオそら武蔵野

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	0	・粗大運動や集団での活動は大部屋、学習や微細運動などは小部屋を使用するなど、分けて行っています。また、コロナ禍で利用の人数も制限して行っています。	大部屋で活動する際に衝突など起こらないよう事故防止にもつとめていきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	1	・児童発達管理責任者、児童指導員、保育士がそれぞれ適切に配置されています。	・より専門性を高めていけるよう、研修なども定期的にも実施し質の向上を目指します。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	・小部屋は微細・学習、大部屋は粗大運動など、活動内容によって部屋を変えています。 ・視覚的に分かるよう、手洗い等の動作は写真で表示されています。また、見通しが持てるよう、絵カードを使ったスケジュールの提示を行っています。	・より過ごしやすくなるよう工夫していきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	0	・午前・午後の療育後に療育道具・床等消毒し清掃しています。 ・スタッフも毎時間手洗いを徹底して行っています。	・今後も清掃、消毒を徹底していきます。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	6	0	・スタジオ内会議の実施や、朝礼、屋礼、終礼でお子様の共有を行っています。	・毎月ケース会議の開催、なるべく出勤者の多い日に設定し多くの人が参加できるように工夫していきます。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	6	0	・いただいたご意見や評価を基にスタジオ内会議を行い、どのように改善していくか話合っています。	・ご意見や評価の全てにお応えする事は難しいが、なるべく多くの方に安心してご利用いただけるよう、意識をし改善に努めていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	・HPで公開しています。	・今後も引き続き行います。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	・第三者からの評価は未実施です。	・外部評価には至っていないが定期的に社内でチェックを行っていきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・社内研修を実施しています。	・継続して研修を実施し、技術向上や知識の理解を深めていきます。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・計画を立てる際は保護者様のご意見、お子様のアセスメントした結果をもとに、お子様の状況を考慮し、適切な計画を立てるよう努めています。	・ケース会議もしっかりと実施して作成していきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・社内共有のアセスメントツールを使用しています。	・アセスメントツールを使用できるスタッフを増やしていきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・本人支援を主にしながら、兄弟も参加出来るイベントを実施しています。	・地域交流など、参加の機会を増やせるよう、検討していきます。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・支援計画に沿った支援内容、記録方法を行っています。	・引き続き充実を図っていきます。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・打ち合わせを必ず実施し、支援の内容、方向性の一致しています。	・引き続き充実を図っていきます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・個々の課題やその日の状態を考慮し、臨機応変にプログラム内容を変え、お子様が楽しく笑顔で活動できるよう工夫しています。	・職員のスキルによって提供できるプログラムに差があるため、先輩職員が持っている知識を周知する方法を検討します。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	・朝礼、屋礼を行い、その日の支援内容等の確認を行っています。	・必要に応じて相談していきます。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・打ち合わせ時に、当日だけでなく、前回の内容も含わせて共有しています。 ・前日の業務日誌の共有、その日の児童のプログラムや課題の共有をしています。	・引き続き充実を図っていきます。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・支援終了後に終礼を行い、お子様の状況変化や、保護者様のご要望等を報告し、共有しています。また、業務日誌への記入や朝礼時に前日の振り返りを行う等、休みの職員との共有も行っていきます。	・引き続き充実を図っていきます。

関係機関や保護者との連携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・記録の書き方について、必要に応じて指導しています。	・記録用紙の書き方を、誰が見ても分かりやすいよう、どんな教材や教具を使用したかなど、具体的に記述していきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・定期的にモニタリングを行い、課題の達成度や、これからの課題を確認し、保護者様のご要望なども聞き取っています。	・今後も丁寧に見直しを行っていきます。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・管理者・児発管が出席しています。	・新しい職員にも担当者会議の役割について説明していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	・必要に応じて子ども家庭支援センター等と連携して支援を実施しています。	・必要に応じた連携を図っていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1	・重症心身障害児の受入は現在行っていません。医療的ケアが必要な児童については、保護者同伴での療育を実施しています。	・必要に応じた連携を図っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	0	・要請があれば保育園への見学・意見交換を行っています。	・必要に応じた適切な情報共有を行っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・必要に応じて情報共有しています。	・必要に応じた適切な情報共有を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・必要に応じて情報共有しています。	・保護者を通して、他の施設からの申し出があった時のみ共有をしています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	・管理者・児発管が参加しています。	・管理者のみに限らず多くのスタッフが参加できるよう工夫していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	4	・毎年行っていたそらコンサートの開催が感染症対策の為、今年は実施できませんでした。	・感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	・管理者・児発管が参加しています。	・自立支援協議会について、職員への周知ができていないことが課題となっています。今後地域の福祉の動きなども事業所内で周知していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・フィードバック時に、療育内容やお子様の変化をお伝えすると共に、お子様の様子や保護者様からのご要望等をお聞きしています。	・引き続き充実を図っていきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施しています。	・研修を行い、スキルの向上を図り、実施していけるように努めています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・契約時、また必要に応じて随時説明を行っています。	・引き続き丁寧な説明を実施していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・支援計画についての面談し、ご要望の聞き取りや確認を2回に分ける事で、ニーズをくみ取る工夫をしています。	・ゆっくりとした時間を取れていないため、お時間とお話ができるように工夫していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・フィードバックなどで伝えきれない場合は、後日別途時間を作り伝えています。	・今後も気軽にお声掛けいただけるような雰囲気を作っていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	・保護者のニーズを聞き取り、必要に応じて検討します。	・引き続き丁寧な対応を実施していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・保護者からのコメントや要望など、その日の終礼で報告し記録に残し周知しています。 ・ご相談がある場合は、フィードバック時以外で別途時間を作っていただき、対応しています。	・引き続き丁寧な対応を実施していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	・HP上で情報発信をしています。 ・スタジオ独自で掲示物を作成するなどして活動内容が分かりやすくなるよう工夫していきます。	・HP上でもそら通信の充実に加え、毎月のスタジオでの課題が充実するよう工夫していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・鍵付きの書庫で厳重に保管しています。 ・徹底するようスタッフにも周知しています。	・引き続き慎重に取り扱っていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・お子様の特性に合わせて、絵カード等を使用しコミュニケーションをとっています。	・より伝わりやすいコミュニケーション手段や支援方法等の知識の向上を図っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	・今年は行っていませんが、例年そらコンサートを実施しています。	・より地域に開いた行事の展開について、検討していきます。

非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・マニュアルの策定・訓練の実施を行なっています。	・内容について保護者様にお知らせし、訓練へのご参加を呼び掛けていきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・避難訓練を実施しています。	・内容について保護者様にお知らせし、訓練への参加を呼び掛けていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・事前に共有しています。	・引き続き細やかに共有を行っていきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	・食物を扱うイベント実施の際は、事前に保護者様に聞き取りを行っています。	・引き続き、細心の注意を払っていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・日々終礼で確認を行っています。	・定期的に事例検討などの研修を行い、安全管理を徹底していきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・社内研修を実施しています。	・定期的に事例検討などの研修を行い、虐待防止を徹底していきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・契約時にやむを得ず身体拘束を行なう場合について説明を行なっています。	・定期的に事例検討などの研修を行い、適切に対応できるよう努めていきます。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。